

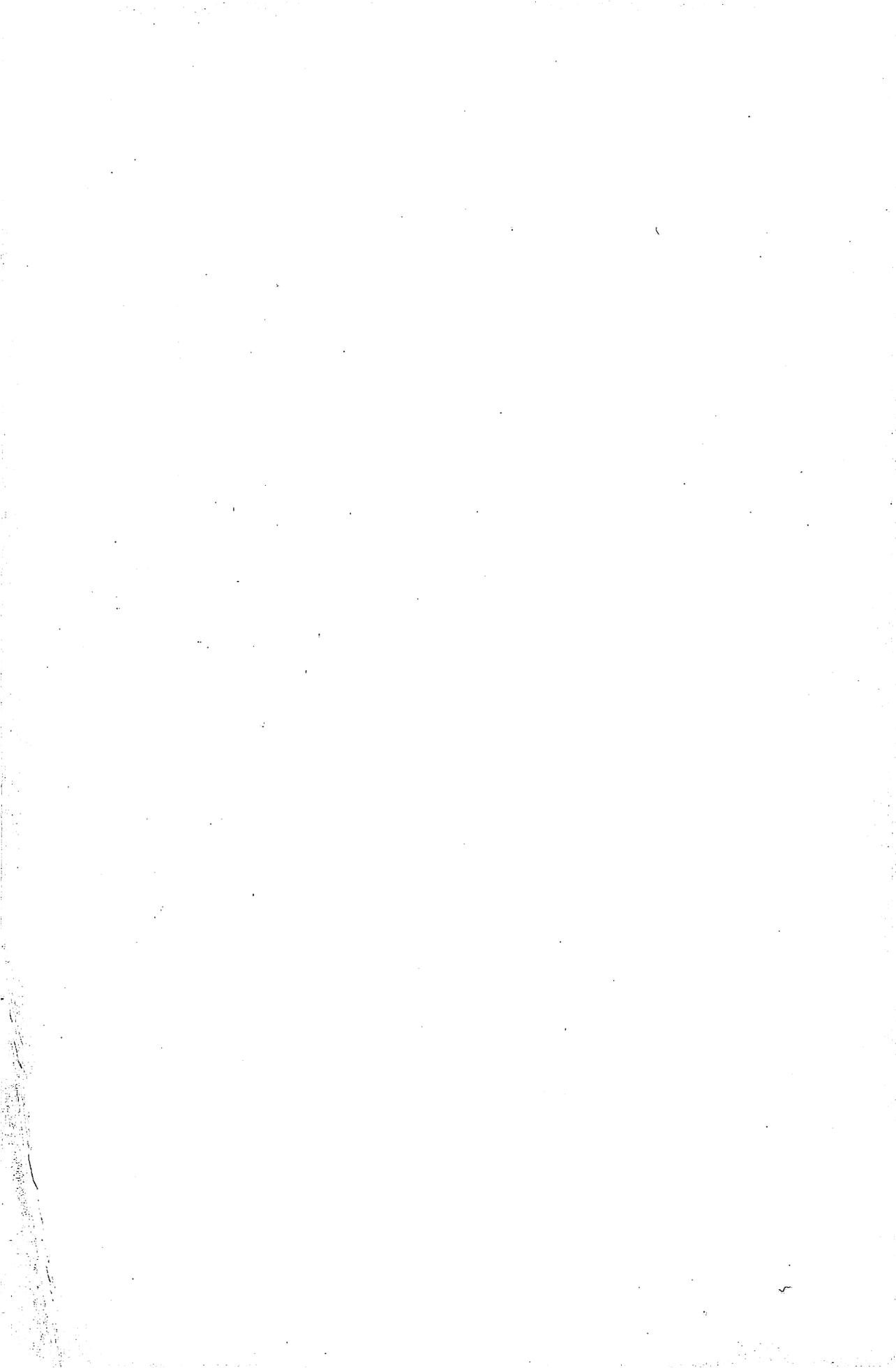
鹿児島島の自然調査事業報告書Ⅳ

# 大隅の自然



1997

鹿児島県立博物館



## はじめに

鹿児島県は、気候的に亜熱帯域と温帯域にまたがり、また、地質的にはプレートの沈み込みによる地殻変動の激しい地帯に当たります。

このため、北限種や南限種はもちろん貴重種も多く、天然記念物に指定されている動植物は35種を越え、トカラ列島には世界の動物分布の境界線(渡瀬線)があり、屋久島は日本で初めて世界自然遺産として登録されました。また、昭和63年に開催された国際火山会議では、世界各国の火山研究学者の注目を浴びました。このように、鹿児島の自然は、多様で世界的にも注目を浴び、魅力的なものとなっています。

鹿児島県立博物館では、この豊かな自然を明らかにするために、平成5年度から、ブロック毎に総合的に調査する「鹿児島の自然調査事業」を進め、今までに「南薩の自然」「北薩の自然」「奄美の自然」として、その総合調査の結果を報告しました。

この報告書「大隅の自然」は、鹿児島湾の東側で太平洋側の半島に当たる大隅地域を調査し、その自然概況と南部の自然環境保全地域の稲尾岳を中心とした総合調査の結果をまとめたものです。この報告書が、既刊の報告書とともに鹿児島の豊かな自然を知り、自然への関心を高め、自然との共生を図る大切さを知る一助となれば幸いです。

発刊にあたり、調査や報告書作成など、この調査事業に御協力くださいました方々に心から感謝申し上げます。

平成9年3月

鹿児島県立博物館  
館長 井出口 龍 哉

調査担当者

○は企画指導委員

分類	氏名	備考
植 物 類	○大野 照好 下園 哲也 寺田 仁志 川越 良昭	鹿児島短期大学教授 鹿児島市立長田中学校教諭 鹿児島県立博物館 鹿児島県立博物館
昆 虫 類	○福田 晴夫 江平 憲治	元鹿児島県立博物館長 鹿児島県立錦江湾高等学校教諭
哺 乳 類 鳥 類 両生・爬虫類	○鮫島 正道 酒匂 猛 所崎 聡 山元 幸夫 小溝 克己	長崎鼻パーキングガーデン園長 鹿児島市立平川動物公園主幹 グリーン歯科医院歯科医 鹿児島県立博物館 鹿児島県立鹿児島中央高等学校教諭
貝 類	行田 義三	日本貝類学会会員
甲 殻 類	○鈴木 廣志 黒江 修一	鹿児島大学水産学部助教授 鹿児島県立博物館
地形・地質・気象	桑水流 淳二 西 健一郎 成尾 英仁	鹿児島県立松陽高等学校教諭 鹿児島県立鹿屋高等学校教諭 鹿児島県立博物館

調査対象地





砂岩泥岩互層（ダグリ崎）



海底地すべり堆積物（島泊海岸）



大隅花崗岩（根占）



花崗岩に発達する板状節理と巨礫



阿多溶結凝灰岩とポットホール（田代）



二次シラス（鹿屋）



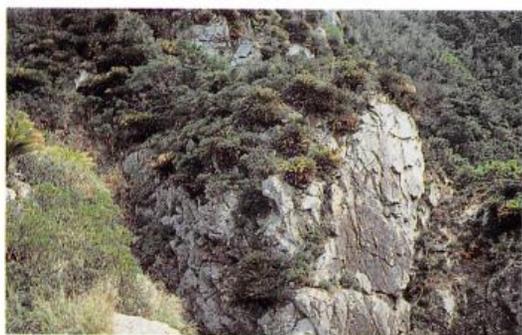
火山豆石（鹿屋）



アカホヤと池田降下軽石（大根占）



ビロウ群落



ソテツ群落



ホンバタブ群落



南限のブナ (高隈山)



ヒメノユリ



ヤッコソウ



ツメレンゲ



ツルモウリンカ



アズキガイ



ヒゼンオトメマイマイ



ウスカワマイマイ



コベソマイマイ



ツクシマイマイ



ギュリキギセル



ナミハダギセル



タブキギセル



クマドリオトメマイマイ



ツバキカドマイマイ



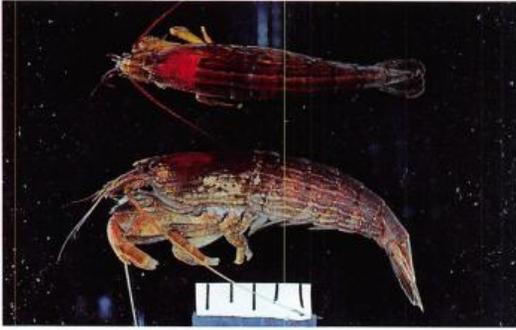
チャイロマイマイ



クリシママイマイ



ドブガイ



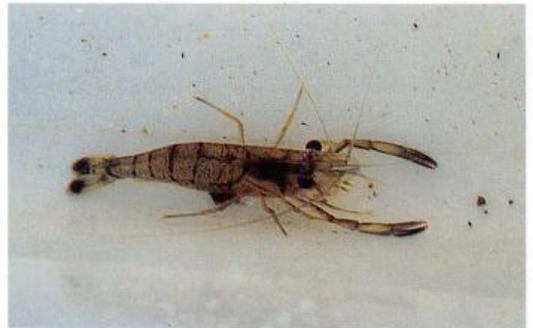
オニヌマエビ



ヌマエビ



スジエビ



コツノテナガエビ



ミカゲサワガニ



ミカゲサワガニ正面



サワガニ (赤色型)



サワガニ (青色型)



↑クロオオアリの巢中の3齢幼虫  
 白いアリの蛹(まゆ)の間に桃色のクロシジミの幼虫がいる。  
 ←鹿屋市高牧町の生息地  
 左のアキグミに産卵し、下のクロオオアリの巢に運ばれる。

アリの巣で育つチョウ、クロシジミ



タテハモドキの産卵 (1977年8月)  
 佐多町伊座敷の早期栽培水稻の刈りあとに食草スズメノトウガラシが生育し、このチョウの大発生をまねいた。  
 現在は県下全域に広がりつつある。



サンゴジュのつぼみを食べる幼虫 蛹  
 サツマシジミ  
 このチョウの生活史は1950年代に志布志で明らかになった。



ツマベニチョウの終齢幼虫  
 胸脚をふくらませて静止する。  
 頭部と眼状斑(胸部)に注意。



ハッチョウトンボの生息環境  
 志布志町夏井(1993年6月9日)  
 このような湿原状の環境は埋め立てやきれいな池への造成で少なくなっている。



オオカワトンボ(♂)



ブチサンショウウオ



タゴガエル



ニホンヒキガエル



シュレーゲルアマガエル



ウミガメ足跡



ニホンカナヘビ



ヒバカリ



シロマダラ



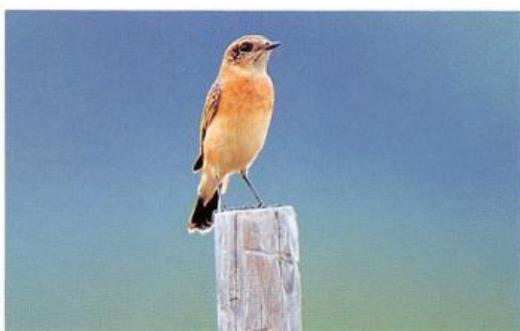
アカハラ♀



サシバ



ハジロコチドリ(右)とシロコチドリ(左)



ノビタキ



コアジサシ



ツバメチドリ



ホウロクシギ



セイタカシギ



キクガシラコウモリ



ニホンザル



ムササビ



タヌキ



イノシシ



キュウシュウジカ



キュウシュウノウサギ



カヤネズミの巣

# 目 次

はじめに	(館長) .....	1
調査対象地・調査担当者名簿	.....	2
口絵(カラー)		
地形・地質	.....	3
植物・植生	.....	4
貝類	.....	5
甲殻類	.....	6
昆虫類	.....	7
両生類・爬虫類	.....	8
鳥類	.....	9
哺乳類	.....	10
目次	.....	11
I 大隅の自然概要		
1 大隅の気象	(成尾) .....	12
2 大隅の地形・地質	(西, 桑水流) .....	14
3 大隅の植物相	(川越) .....	19
4 大隅の植生	(大野) .....	26
5 大隅の貝類相	(行田) .....	35
6 大隅の甲殻類相	(鈴木) .....	47
7 大隅の昆虫相	(福田, 江平) .....	51
8 大隅の両生類・爬虫類相	(鮫島) .....	60
9 大隅の鳥類相	(鮫島) .....	64
10 大隅の哺乳類相	(鮫島) .....	73
II 大隅の自然(現地調査報告)		
1 大隅南部の地形	(西, 成尾) .....	79
2 大隅南部の地質	(西, 桑水流, 成尾) .....	82
3 稲尾岳の植物相	(下園) .....	91
4 稲尾岳とその周辺の植生	(大野, 寺田) .....	97
5 稲尾岳の貝類相	(行田) .....	112
6 大隅半島の甲殻類相	(鈴木, 黒江) .....	116
7 大隅半島南部の昆虫相	(江平) .....	122
8 稲尾岳周辺の両生・爬虫類相	(小溝) .....	130
9 稲尾岳で観察した鳥類	(所崎) .....	136
10 稲尾岳周辺の哺乳類	(酒匂) .....	141

〈表紙写真〉

佐多町 佐多岬

鹿児島県の自然調査事業報告書Ⅳ

大 隅 の 自 然

発行日 1997年3月31日

発行所 鹿児島県立博物館

〒892 鹿児島市城山町1-1 (TEL 099-223-6050)  
(FAX 099-223-6080)

印刷所 中央印刷株式会社

〒892 鹿児島市春日町12番16号

TEL 099-247-3300 FAX 099-248-0164